

自己判定型振動センサ

微細な振動から、不具合を瞬時に。

「正常な状態」を記憶し、異常を検知する「自己判定型振動センサ」



異常振動を判断して、アラート信号を発信

特長

- 内部に正常振動状態を記憶するメモリ部と状態変化を見て異常状態を検知する自己判断部を搭載
- 異常検出時は無線でアラート信号を発信、事故を未然に防ぐ
- 低消費駆動: 小型バッテリー or エナジーハーベスト素子でも動作可能
- 磁石標準搭載: オプション無しでそのまま固定可能(非磁性体には接着固定を推奨)

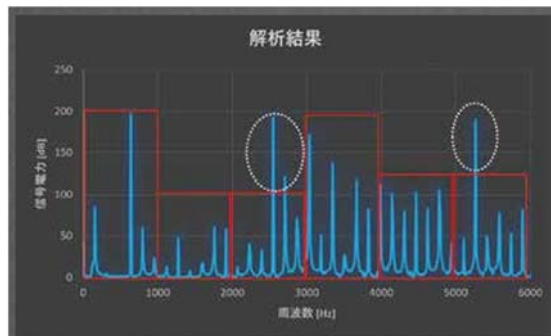
●当技術資料は現時点での参考値です。開発中及び製品改良のため記載内容を予告なく変更することがあります。●ご使用にあたっては正式納入仕様書の取り交わりをお願いします。●当社製品のご使用に関しご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



特長

動作の流れ

- ① 事前に正常状態の周波数スペクトルを測定し
赤枠の閾値を設定する
- ② 通信頻度の設定
- ③ 赤枠閾値を超えた際にアラート信号を発信
周波数スペクトルデータも同時に送信可能



用途

下記シーンにおける最適メンテナンス時期の検出

- 産業機械設備
- インフラ関係設備

主な仕様

項目	仕様
測定周波数帯域	～ 2,600Hz
通信方式	Bluetooth® LE
通信距離	10m 以上
通信頻度	Bluetooth® LE 通信により変更可能
検知上限加速度	±16g
保護構造	IP65 相当

※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ホシデン株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

●当技術資料は現時点での参考値です。開発中及び製品改良のため記載内容を予告なく変更することがあります。●ご使用にあたっては正式納入仕様書の取り交わしをお願いします。●当社製品のご使用に関しご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせ下さい。

